

ふつさ 市議会だより

No.246 令和8年4月25日
発行/福生市議会

〒197-8501 福生市本町5番地
☎042(551)1511(代表)
☎042(551)1523(直通)



X(Twitter)



Facebook



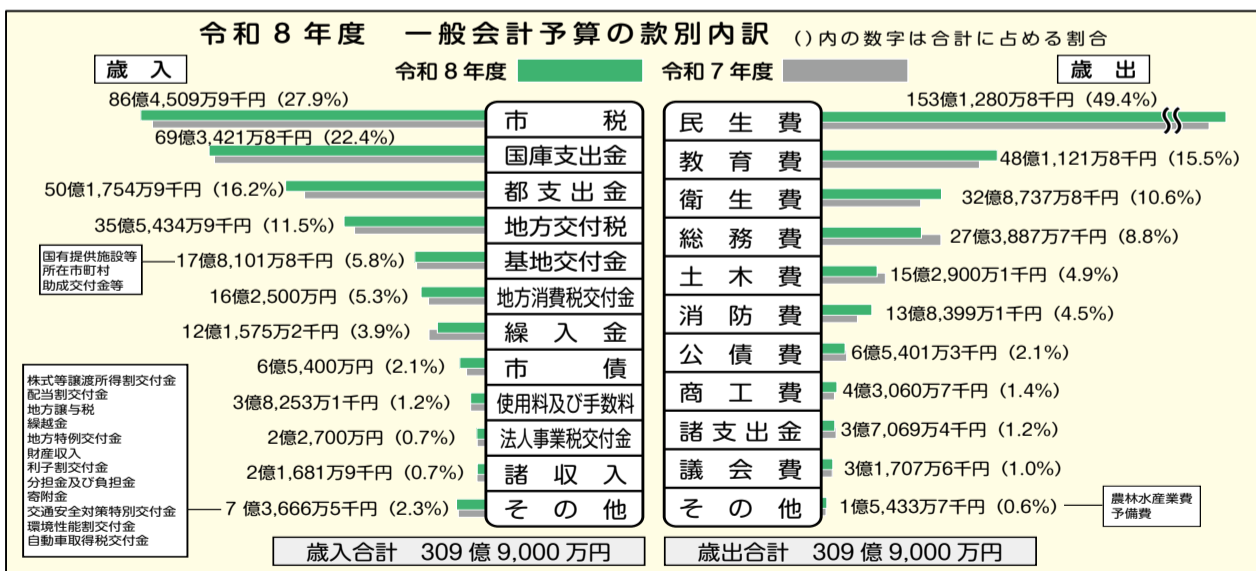
▲福生市役所とハクモクレン

令和8年
第1回定例会

3月3日～3月27日

令和8年度予算を可決

一般会計及び各特別会計
450億2771万5千円



令和8年第1回定例会

令和8年第1回定例会は、3月3日から3月27日まで会期25日間で開催されました。新年度へ向けて市長から施政方針、教育長から教育方針が述べられた後、16名の議員による一般質問が行われました。

また、条例の一部改正、補正予算、各会計予算など、市長提出議案19件が審議されました。

市民等から提出のあった陳情3件は、不採択となりました。

開催状況と審議日程	2月	3月	4月
▼2月	17日 議会運営委員会		
▼3月	3日 本会議1日目 議会運営委員会 4日 本会議2日目 議会運営委員会 5日 本会議3日目 議会運営委員会 6日 本会議4日目 議会運営委員会 7日 予算審査特別委員会 8日 予算審査特別委員会 9日 予算審査特別委員会 10日 予算審査特別委員会 11日 予算審査特別委員会 12日 予算審査特別委員会 13日 4日目		
▼4月			15日 議会運営委員会 16日 建設環境委員会 17日 市民厚生委員会 18日 総務文教委員会 19日 横田基地対策特別委員会 20日 議会運営委員会 21日 本会議5日目 全員協議会 22日 議会運営委員会 23日 議会運営委員会 24日 本会議5日目 25日 議会運営委員会 26日 議会運営委員会 27日 議会運営委員会

◆ 主な内容 ◆

- ◆一般質問(要旨)……2～4面
- ◆予算の概要……5面
- ◆議案の審議結果……6面
- ◆可決等された案件……6面
- ◆委員会の審査……7～8面
- ◆特別委員会活動……8面

一般質問(要旨) 「市政のここを問う」

今定例会では、16名の議員が市政全般にわたり一般質問を行いました。要旨は1～2問とし掲載しました。

会議録は5月中旬に市役所情報コーナー及び図書館に配置します。

また、福生市ホームページにも掲載しますので、ぜひご覧ください。

なお、一般質問通告一覧は、福生市議会ホームページに掲載しています。

※録画映像を議員名左横のQRコードよりご覧いただけます。



福生市議会HP
(通告一覧へリンクします)



議員BOOK
(各議員の過去の一般質問や
会議録をご覧いただけます)

令和8年度の市政運営について



正和会
小林 貢 議員



福生市総合計画(第5期)後期基本計画

質問 加藤市長の5期目の市政運営も5月で折り返し地点を迎えるが、令和8年度における重要施策はどのような政策的視点で選定されたのか、その経緯も含めて伺う。

市長 本市では現在、福生市総合計画(第5期)後期基本計画により諸施策を行っているが、少子高齢化

や、急速に進展する社会のデジタル化など社会環境の変化の中、今後も適切な市政運営を行うため、昨年11月に前期基本計画の全20施策について数値的な定量情報と職員の意見や現場で蓄積された知見などの定性情報に基づく分析を行い、取り組みの総括を行った。その結果優先度の高

い「少子高齢化」、「施設の老朽化」、「物価高騰、人件費の上昇」、「外国人住民の増加」の4つの課題に対する取り組みを令和8年度の重要施策として位置付けた。今後も本市の実態に即した施策を着実に推進することで持続可能なまちづくりに資する取り組みを前進させていく。

福生市の観光施策について



正和会
山崎 貴裕 議員



質問 これまでの任意団体であった福生市観光協会を解散し、法人を設立した経緯と今後の展開を伺う。

市長 令和9年3月に福生市観光振興計画を策定予定だが、施策実行の担い手として民間ならではの視点と柔軟な運営に期待し市の支援のもと一般社団法人化した。事務局を設

置し組織強化により地域経済の活性化とシビックプライドの醸成を図る。**社会教育行政における専門資格について**

質問 専門資格を有する職員を活用した社会教育の強化、展望を伺う。

教育長 近年、市民の学習を支援する社会教育や生涯学習の重要性が

高まり、職員はこれまで以上に高度な知識の習得と一層の責任感が必要と考え、社会教育主事、学芸員、司書の資格を有する職員を規則等に位置づけ専門資格発令の準備を進めている。その他、資格取得支援、研修等を通じ職員の意識向上、人材育成を継続して進めていく。

民生委員の成り手不足について



正和会
森田 哲哉 議員



建設が進む片倉跡地

質問 成り手不足の背景について、把握している課題と実情を伺う。

市長 昨年12月の一斉改選で52地区中7地区が欠員状態にあり、ひきこもりや虐待など相談・見守り内容の複雑化や負担感、委員の高齢化、仕事と家庭の両立など難しい点がある。今後も委員の声を伺いながら活

動しやすい環境づくりに努めていく。**片倉跡地について**

質問 都の事業による影響と地元住民の意見の反映方法について伺う。

市長 都では令和13年度に(仮称)西多摩児童相談所を開設予定だが、先行して昭島市の障害者通所施設建て替えに伴う仮設施設を開設予定。

児童相談所の開設は本市の児童福祉行政における相談支援事業の強化に資する一方、都の事業が市内で展開され地域に影響が生じる可能性もある。「都知事との意見交換」の場で住民との十分な対話や熊川分水の保全への配慮、地域に開かれた施設運営を要望しており、引き続き求めていく。

福祉バスの増設に伴う成果と市民要望の把握について



正和会
仲間 正司 議員



現在運行している福祉バスの路線図

質問 路線増設から2年が経過。成果と市民要望の把握について伺う。

市長 増設に合わせ1便の運行時間を60分から70分に変更したことで安定して定刻運行ができるようになった。たなばた号に牛浜駅東口等新規バス停を設置し交通空白地域の解消や、10か所のバス停で乗換えを可

能にし、利便性の向上に努めた。市民要望の把握は、社会福祉協議会や運行委託事業者と定期的に情報交換して課題の解消に努めている。**雇用対策について**

質問 本市の持続的発展には実効性のある雇用対策が必要ではないか。

市長 これまで創業への相談支援、

利子補給等を行う中小企業振興資金融資制度、ハローワークや商工会との連携等、幅広い雇用対策を展開している。一方、共働き世帯や外国人労働者の増加、働き方の多様化、終身雇用の崩壊など雇用に関する課題も急増しており、これらに引き合い、引き続き雇用の促進に努める。

フロントヤード改革について



正和会
清水 義朋 議員



窓口受付時間短縮を知らせる掲示物

質問 窓口業務等のDX化、フロントヤード改革について市の具体的な取組内容と方向性について伺う。

市長 フロントヤードとは行政と市民とのあらゆる接点を指し、市民の負担軽減の観点から、書かない、待たない、迷わない、行かないの4つを目指すべき姿とするもので、本

市では令和8年2月に総合窓口課においてデジタルツールの活用による、書かない、待たない取り組みとして申請書の作成を支援するシステムと、マイナンバーカード手続の予約制を導入した。合わせて、総合窓口課において窓口の受付時間を試行的に短縮し様々な課題の解消に向けた検証

を始めている。今後の方向性としては、2月に実施した窓口利用者への実態調査、総合窓口課における受付時間短縮の取組状況などを踏まえ、本年10月を目途に庁内の検討組織で、全庁的な窓口の受付時間や時間外開庁の最適化について検証を行いたいと考えている。

市内の樹木の管理について



公明党
原田 剛 議員



質問 桜の樹木とクビアカツヤカミキリ対策についてこれまでの取り組みを伺う。

市長 多摩川堤防沿いの桜は植樹後約60年が経過し衰弱が見られるため樹木医による診断を実施し、倒木の危険がある桜は通行者の安全確保のため令和7年度に伐採を行った。

クビアカツヤカミキリの対策としては、令和元年以降、薬剤の注入等の対処を行い、令和7年度からは駆除に対する奨励品交付事業を実施し効果的な駆除の促進に努めている。

質問 民地から道路へ越境した樹木の適切な管理について考えを伺う。

市長 令和5年4月の民法改正に

より、越境した樹木を一定の条件下で道路管理者が切除できるようになったが、市では従来どおり民地の樹木は個人の財産と考えている。所有者の責任による適正な管理を求め、直接指導や書面通知、市広報やホームページでも周知を行い、粘り強く指導を続けている。



▲倒木の恐れがあり伐採した桜の木

児童・生徒のインターネットの適切な使用について



立憲民主党
市川 佳樹 議員



質問 福生市立学校に通う児童・生徒にいじめ動画拡散等の事案が発生した場合、学校や教育委員会はどのように対応するのか伺う。

教育長 市教育委員会では、起きてからの対応ではなく、未然防止が何よりも重要であるという認識のもと、魅力ある学校づくりに取り組む

ことを前提として、まず被害児童・生徒の安全確保を最優先に心身のケアを直ちに実施する。スクールカウンセラー等専門職を活用し、安心して学校生活を送れる環境を確保する。さらに、加害児童・生徒に対しては厳正に指導し、犯罪行為に該当する可能性がある場合には警察とも連携

し毅然とした対応を行う。SNS上に動画等が投稿・拡散された場合には警察や関係機関と速やかに連携し組織的に対応を進める。学校に対しては、児童・生徒に対する暴力行為やいじめに関する指導と合わせて、改めて情報モラル教育を実施するよう強い危機感を持って指導していく。



防災・減災の取組について



公明党
青木 健 議員



質問 本市の災害関連死に対する取り組みの現状と、災害関連死認定審査会の設置や規定の整備状況等について所見を伺う。

市長 近年被災地から災害関連死が多く報告されていることから、東京都は本年度より新たな体制づくりに着手した。本市においても最優先

課題として、西多摩保健医療圏地域災害医療連携体制の下、本市の災害関連死防止の体制を構築すべく、福生市の災害医療コーディネーター、医師会、歯科医師会、薬剤師会、さらに西多摩地域の地域災害医療コーディネーターと協議を進めている。犠牲者への弔慰金については、災害

弔慰金の支給等に関する法律及び福生市災害弔慰金の支給等に関する条例により、遺族の申請に対して市が支給する。災害関連死を認定する審査会の設置規定は自治体の努力義務ではあるが、被災地の状況を踏まえ、今後審査会に係る規定等の制定に向け関連部署で協議し取り組んでいく。



公共施設マネジメントと地域運営組織について



公明党
堀 雄一朗 議員



質問 公共施設マネジメントと地域運営組織の在り方についての所見を伺う。

市長 今後、学校を核とした公共施設の再編を進めていくに当たり、児童・生徒数の推計、施設の劣化状況などを踏まえた再配置の検討とともに地域の公共施設の複合化・集約

化を見据えた配置も検討する。公共施設の再編と地域コミュニティとの連携は計画の初期段階から行うことが重要であり、公共施設の複合化等にも地域との連携や地域コミュニティの創出の視点が必要不可欠であるため、丁寧に取り組んでいく。

[福生市公園施設整備計画について](#)

質問 市民参加型の公園管理のさらなる推進について所見を伺う。

市長 現在、市民に清掃や美化活動等で協力を得ており、市民参加型の公園管理は市民の積極的な関与で地域の連携強化や公園の維持管理の負担の軽減等も期待できるため、引き続き多様な手法を研究していく。



▲ボランティアの皆さんによる活動の様子(市HPより)

ゼロカーボンシティ宣言の実現に向けた取組について



正和会
武藤 政義 議員



質問 ゼロカーボンシティやエコシティふっさの実現に向けて、現在の取り組みと今後について伺う。

市長 ゼロカーボンシティやエコシティふっさの実現には、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で、また時には協働して考え行動することが必要である。市民との協働の取り

組みとして、福生市環境マネジメントシステムによる地球温暖化対策の推進があり、令和8年1月15日号の広報で市有施設での環境配慮行動の推進に御協力いただく市民監査委員を紹介し、節電や紙削減など家庭でもできる取り組みを掲載した。市からの発信で市民の環境に対する興味

や行動を後押しし、地域全体の地球温暖化対策推進につなげたい。また、令和8年3月中に地域の脱炭素化の実現に向け武陽ガス株式会社と包括連携協定を締結予定。今後も市民・事業者と共に地域全体でゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みや情報発信に努めていく。



▲広報で紹介したエコ活動(広報ふっさ1月15日号より抜粋)

人口と少子化について



公明党
川崎 善友 議員



質問 本市の人口の現状分析と推移及び少子化対策について伺う。

市長 市の総合戦略で掲げた人口規模の維持・確保を目指す令和6年度までの人口の目標値は達成し、定住化施策が順調に進捗しているとの評価である。将来人口推計では、令和31年頃から全ての年齢区分におい

て人口減少となるが、子育て世代の転入促進による人口減少の抑制とまちの活力保持のため、今後本市で出産し子育てを続けたいという希望をかなえる子育て支援や環境整備など、将来世代の形成に向けた施策を推進し、少子化の進行を抑制していく。

[学校給食について](#)

質問 福生市立小・中学校の給食費の無償化の成果と課題を伺う。

教育長 成果は保護者の経済的な負担軽減と職員の給食費徴収事務の負担軽減の2点。課題は全額公費負担を継続するための財源の確保である。引き続き食育の生きた教材である学校給食の充実を図っていく。



教育現場における個人の尊重について



日本共産党
伊藤 広美 議員



質問 学校の細かなルールは子どものためではなく学校側の都合を優先したものではないかとの声があるが、学校現場で児童・生徒の意思決定や自己決定権など、個人の尊重はどのように行われているのか伺う。

教育長 教育委員会では児童・生徒が自発的、主体的に自らを発達さ

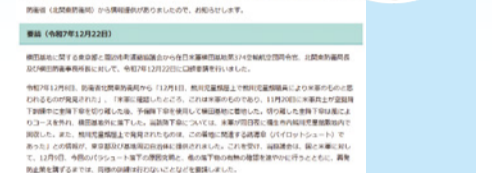
せていくことを尊重し、その過程を学校や教職員が支える発達支持的生徒指導の考え方を基盤とし、児童・生徒の意思決定や自己決定の場の創出に取り組むよう学校を指導している。例えば、福生第一中学校では生徒の意見を取り入れ学校生活をより良くすることを目的に目安箱の名称

で意見箱を設置し、校則や生活の決まりについて生徒会役員が中心となって協議できる体制が整っている。今後とも個人の尊重と集団の一員としてのルールやマナー等秩序を守ることとの両立を図りながら、発達支持的な視点に基づく生徒指導を一層推進するよう校長を指導していく。

米軍横田基地について



日本共産党
市毛 雅大 議員



質問 東京都福生市内に落下したパラシュートについて、事案の内容と市の対応について伺う。

市長 昨年12月1日の午後1時30分頃、児童館職員より屋上点検において米軍のものと思われるものを発見したと市役所に連絡があった。同日市職員が現地で聞き取りを行い、

人的・物的被害はないことを確認し当該物を回収。北関東防衛局を通じ米軍へ照会をしたところ、当該物は11月20日に米軍兵士の空挺降下訓練中に横田基地の外に落下したものであることが分かった。子どもが集う児童館の敷地内で発生した人命に関わりかねない大変重大な事故であり、

事故発生に関する情報が米軍側から一切提供されないまま秘匿されていたこと、許可なく市公共施設の敷地内に侵入していたことに極めて遺憾である旨を示し、市民の安全・安心を守る立場から事故の発生及びこれまでの周辺自治体からの要請に対する対応を市長として強く抗議した。

▲市HPで情報提供内容や要請内容等を掲載

介護保険サービスの現状と対策について



スポーツ文化を通じて人づくりと街づくりの会
幡垣 正生 議員



質問 本市が介護保険サービスの運営について気をつけていること、ニーズに応えるための施策を伺う。

市長 令和6年3月に福生市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(第9期)を策定し、住み慣れた地域で安心して心豊かに生活するための高齢者福祉の充実と介護保険制度の推

進に取り組んでいる。地域で支え合う介護の実現のために、サービス事業者への支援及び指導を行うなど一人一人の状況に合った適切な介護サービスを選択できるよう受給環境の整備に努めている。また、介護人材の不足が全国的な課題となる中、介護人材の確保、定着と併せて介護現

場の生産性向上を重要課題として認識している。市内介護サービス事業所の職員等に対する研修や資格取得の費用補助により安定した介護サービスの提供体制を確保し、ICT機器導入費用等の補助を通じて事業所間の情報共有の改善を図り、介護サービスの質の向上につなげている。

黒字廃業を阻止するための「地域内・事業承継(第三者承継)」マッチング支援の創設について



日本維新の会
西尾 壽々斗 議員



質問 後継者不在等で廃業せざるを得ない経営者と創業希望者をつなぎ事業を継続することは人口減少時代に即した政策と考える。事業承継マッチング支援の仕組みづくり等について市の見解を伺う。

市長 これまでも事業承継・引継ぎ支援センター等の関係機関との連

携や福生・昭島地域の未来をつなぐ協議会で事業者支援に取り組んできたが、愛されてきた店を引き継ぐためにはマッチングして店を譲るだけでなく、積み重ねてきた歴史や技術などの継承に年単位の時間が必要なのが課題で、事業承継するための人件費捻出も小規模店舗では難しい

状況である。また、市内店舗の多くは店舗兼住宅であり建物の構造も大きな障壁となっている。現時点で事業承継に特化した制度はないが、今後福生市商工会が実施予定の加盟店の経営状況や後継者問題に焦点を当てた調査結果等を踏まえ、施策の方向性について判断していきたい。

児童・生徒一人ひとりに寄り添った学びの機会について



生活者ネットワーク
三原 智子 議員



質問 児童・生徒一人ひとりに寄り添った学びの機会を確保するために福生市教育支援委員会の役割等がとて大切と考えるが、設置目的や考え方、現在の体制について伺う。

教育長 福生市教育支援委員会は、障害による特性があり個別の教育的支援を必要とする児童・生徒にとつ

て最適な就学先を決定することを目的に年間を通じて設置。一人ひとりの能力や特性、保護者の願いを臨床心理士等が十分に把握したうえで、教育・医療・心理の専門家の意見を踏まえ都立特別支援学校、市内小・中学校の特別支援学級や特別支援教室等、最もふさわしい教育環境を選

定し就学先として決定している。現在、医師や特別支援教育に関する学識経験者、特別支援学級設置校の校長等42名の委員で組織している。市教育委員会では、教育支援委員会の決定について児童・生徒と保護者に対し丁寧に情報提供し真に必要な支援等について合意形成を図っている。

ご利用ください 市議会インターネット中継



パソコンのほか、スマートフォン、タブレット端末でも視聴できます。議員の一般質問や市長の答弁の様子が見られ、より身近に議会を感じていただけます。ぜひご利用ください。

- ◆配信内容 本会議のライブ映像と録画映像
- ◆利用方法 福生市公式ホームページ「福生市議会」よりアクセス



福生市議会
インターネット
中継

「声の市議会だより」をお届けしています

音訳ボランティア「福生いとでんわ」により、市議会だよりの音訳をデジタイズ方式のCDにして、視覚障害者(1・2級)の方にお届けしています。ご家族やお知り合いで、希望される方がいらっしゃいましたら、ご連絡ください。

議会事務局 ☎042-551-1523

専用の再生機が必要となりますが、利用対象者は日常生活用具として給付を受けられます。

ケーブルテレビによる議会中継

多摩ケーブルネットワークでも本会議の生中継を放映します。ぜひご覧ください。

令和8年度予算の概要

一般会計予算を4日間集中審査

地方公営会計制度に基づき、事業の内容や財源を盛り込んだ実施計画書等により、令和8年度一般会計予算を審査しました。

今定例会に提出された一般会計予算309億9千万円を、予算審査特別委員会で4日間にわたり慎重に審査しました。

また、特別会計予算140億3771万5千円が提出され、市民厚生委員会で審査しました。

地方公営企業法の財務適用による企業会計方式の下水道事業会計予算は、建設環境委員会で審査しました。通算6日間にわたる審査の結果、それぞれ原案のとおり可決されました。

一般会計予算の審査から

予算の特徴点について

問 予算の特徴を伺う。

答 前年度比14億円、4・7%増の309億9千万円。人件費をはじめ様々な経費が上昇している状況下での予算編成となり、新規・改善事業の精査に加え、物価高騰を踏まえた既存事業の見直しや経常経費の削減に取り組む一方、施設保全改修計画に基づく公共施設の適正管理など、老朽化した施設への対応や、プレミアム付商品券事業など、物価高騰対策を盛り込んだ。新規事業が8件、改善事業は37件。

福生市・羽村市・あきる野市共同行政事務処理センター等検討会について

問 検討会の概要を伺う。

4か所の文字表示盤付き屋外子局はデジタルサイネージを導入、地図情報等が表示でき、より円滑な避難行動を支援する。また、ふっさ情報メール等各種配信メディアへの一括情報発信機能や外国語対応も予定、災害時の情報伝達力を強化する。

平和祈念事業について

問 事業の詳細を伺う。

答 被爆地である広島市の被爆の実相に触れ、戦争の悲惨さや平和の大切さを学び、思いを深めることを目的に、市内在学・在任の中学生を9名募集する。広島への派遣は7月の3日間で、学びを深めるため事前・事後の学習を7回程度実施するほか、派遣報告会も開催予定。また、事後学習の一環として、この経験を踏まえ、絵本作家の指導により平和に関する絵本作成し、市内の児童関連施設へ配布する予定。

窓口業務委託について

問 委託内容と委託料増額の理由を伺う。

答 増額の理由は委託業者の席数を増やしたためである。令和5年度業務委託の開始以降、窓口業務の増加の傾向が顕著で、特にマイナンバー事務で来庁者数や事務負担が増加している。令和8年度以降マイナンバーカードの更新や、電子証明書の

問 親局や遠隔制御設備を改良。屋外拡声子局は一部スピーカーを高性能化、50局から38局へ削減の上、より聞き取りやすくする。福生駅周辺等

更新のための来庁者が一層増加する見込みで、これに対応するために増額となった。人件費、物価高騰も増額の要因となっている。

プレミアム付商品券事業について

問 事業内容と実施スケジュールを伺う。

答 今回の発行冊数は3万冊を予定している。4月から広報ふっさ、市のホームページ、ポスター掲示等で情報を発信予定。5月下旬以降に申込みはがき付きチラシを全戸配布、購入希望者は令和8年6月1日から15日までの間に、はがきまたは申込フォームから申し込みをしていただく。販売は令和8年7月1日から16日まで。商品券の利用期間は令和8年7月17日から12月31日までとなる。

小児インフルエンザワクチン予防接種費用助成金について

問 対象者、実施期間、助成額、助成方法を伺う。

答 対象者は接種日において、市内に住所を有する生後6月から13歳未満の小児。実施期間は定期接種に準じた10月1日から翌年1月31日とし、助成額は注射用HAワクチン1回につき2千円を年2回まで、経鼻生ワクチン4千円を年1回まで助成する。助成方法は、接

種時に指定医療機関で接種費用から助成額を差し引いた金額を支払う形とする。

乳児等通園支援事業について

問 事業内容を伺う。

答 乳児等通園支援事業、通称こども誰でも通園制度は、令和8年度より全国で開始される新たな子育て支援給付制度。対象は未就園の0歳6か月から満3歳未満の子どもで、保護者の就労要件を問わず幼稚園や保育園において一定時間の受入れを行う事業である。利用時間は月10時間までだが、本市では東京都の事

道路ストック点検について

問 令和8年度の点検対象と点検方法を伺う。

答 点検の対象となる跨線橋は、道路法の規定により前回調査から5年が経過する市管理の福生駅自由通路と牛浜駅自由通路の2橋である。

調査点検の方法は、目視による変状、取り付けた部材等の異状の有無の確認及び点検ハンマーでの打診による浮き、剥離、

学力向上推進事業について

問 福生市学力・学習状況調査の内容を伺う。

答 福生市学力・学習状況調査は、例年4月に小学校第2学年から中学校第3学年までを対象に実施している市独自の学力調査である。小学校は国語、算数の2教科、中学校は国語、数学、英語の3教科を実施し、併せて児童・生徒の意識調査を実施している。

水泳指導外部委託について

問 来年度の実施校と委託内容を伺う。

答 令和8年度は市内小・中学校全10校で実施予定。委託内容は、指導場所として温水プールを確保し、小学校1回60分程度、中学校1回70分程度の指導を各学年5回行うこと。指導時には、10から20人程度のグループ指導を基本とし、グループに最低1名以上のインストラクター及び安全面に配慮し常時監視員を配置すること。各学校からプールまでの移動手段を確保すること等である。



令和8年度 各会計別予算規模 (人口 R8.1.1現在 56,896人)

会計区分	令和8年度予算	前年比(%)	市民1人当たりの額
一般会計	309億9,000万円	4.7	54万4,678円
特別会計			
国民健康保険特別会計	65億7,024万円8千円	△0.7	11万5,478円
介護保険特別会計	57億3,113万7千円	2.1	10万730円
後期高齢者医療特別会計	17億3,633万円	11.1	3万518円
総合計	450億2,771万5千円	3.8	79万1,404円

下水道事業会計

	収入	支出
収益的収支	16億2,889万8千円	15億1,877万3千円
資本的収支	14億3,999万円	22億4,102万6千円

議案の審議結果 (○賛成 ×反対)

録画映像をご覧ください

※スポーツ・文化を通じて人づくりと街づくりの会



議案番号	議案名	正和会	公明党	日本共産党	生活者ネットワーク	立憲民主党	日本維新の会	スポーツ・文化の会*	議決結果
市長提出議案									
議案第2号	福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第3号	福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	福生市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第6号	福生市の一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第7号	福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	福生市介護保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案第10号	福生市空家等の適正管理に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	令和7年度福生市一般会計補正予算(第9号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第13号	令和7年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	令和8年度福生市一般会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案第15号	令和8年度福生市国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案第16号	令和8年度福生市介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案第17号	令和8年度福生市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
議案第18号	令和8年度福生市下水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	令和8年度福生市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	福生市副市長の選任について	○	○	○	○	○	○	○	同意

令和8年
第1回
定例会

可決等だった案件(要旨)

●福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例
職員の生理休暇に関する規定並びに介護休暇及び介護時間の対象期間に関する規定を改めるもの。

●福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
予防接種医、学校医、学校歯科医の報酬について、西多摩地域における均衡を図るため、その額を改定するもの。

●福生市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例
国及び東京都の給与改定に準じて、会計年度任用職員の通勤に係る費用弁償の額を改定するもの。

●福生市の一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
国及び東京都の給与改定に準じて、一般職の職員の地域手当、住居手当、通勤手当及び給料表を改定するもの。

●福生市の一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例
管理職職員の給料の減額する期間を令和8年度まで延長し、減額率を改めるもの。

●福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例
乳幼児の医療費の助成に係る情報連携システムの導入に伴い、医療費に係る助成方法に関する規定を改めるほか、必要な規定を整理するもの。

●福生市介護保険条例の一部を改正する条例
令和7年度法制改正に伴う介護保険法施行令の一部改正に伴い、令和8年度の保険料率の算定に関する特例を定めるほか、保険料の減免に関する規定を整備するもの。

●福生市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
法定外一般会計繰入金の段階的な解消・削減に向け国民健康保険税の税率等を改定するほか、地方税法等の一部改正に伴い、子ども・子育て支援納付金に関する規定を整備するとともに課税限度額等を改めるため、条例を改正するもの。

●福生市空家等の適正管理に関する条例
安全・安心なまちづくり及び良好な住環境の整備を図るため、条例を新たに制定するもの。

●東京都後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する規約について
令和8年度、令和9年度の保険料軽減措置の実施に伴い、規約の一部を変更するもの。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第9号)
歳入歳出予算の総額に4324万8千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ326億3398万2千円とするもの。

●令和7年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)
歳入歳出予算の総額に1億163万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ16億7538万5千円とするもの。

●令和8年度福生市一般会計予算
歳入歳出総額を309億9千万円とするもの。前年度比14億円、4.7%の増。人件費の上昇や物価高騰等により300億円を超える規模。

●令和8年度福生市国民健康保険特別会計予算
歳入歳出予算の総額を65億7024万8千円とするもの。前年度比4347万円7千円、0.7%の減。

●令和8年度福生市介護保険特別会計予算
歳入歳出予算の総額を57億3113万7千円とするもの。前年度比1億1871万4千円、2.1%の増。

●令和8年度福生市後期高齢者医療特別会計予算
歳入歳出予算の総額を17億3633万円とするもの。前年度比1億7301万円、11.1%の増。

●令和8年度福生市下水道事業会計予算
収益的収入を16億2889万8千円、支出を15億1877万3千円、資本的収入を14億3999万円、支出を22億4102万6千円とするもの。

●令和8年度福生市一般会計補正予算(第1号)
低所得世帯エアコン設置等緊急支援事業及び日本語指導推進校事業実施のため、歳入歳出予算の総額に971万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ309億9971万3千円とするもの。

●福生市副市長の選任について
福島秀男副市長の退任に伴い、後任に石川健三総務部長を選任することに同意するもの。

SNS

写真等も掲載しながら、見やすく、わかりやすい議会情報をお届けしています。

で市議会の情報を発信しています!

X(Twitter) Facebook

陳情

結論の付いた陳情は次のとおりです。

●市による私有地掘削工事及びその後の不適切対応についての調査と是正を求める(7・13号) (不採択理由)

本件は、当事者間での協議や司法的手続きを通じて解決が図られる性質の問題であり、議会

の権限の範囲を逸脱していることから、意に沿い難い。

●横田基地での米軍によるパラシュート降下訓練の全面的停止を求める陳情書(8・1号) (不採択理由)

本陳情で求めているパラシュート降下訓練の全面的な停止については、日米安全保障条約及び日米地位協定で認められている在日米軍の運用の一環として実施されており、国の専管事項であることから、意に沿い難い。

●福生市下水道事業における不当利得の疑義説明を求める陳情書(8・2号) (不採択理由)

下水道法第3条の規定は、市がその費用まで負担することを求め、定めたものではなく、都市計画法第39条は、開発行為により設置された公共施設の管理が市に帰属することを定めた規定であり、管理に要する費用は市に求めるといえるものではないことから、意に沿い難い。

討論

●令和8年度福生市一般会計予算

賛成

市財政を圧迫しないとしていた福生駅西口地区市街地再開発事業の前提条件は完全に崩れ去った。公園使用料徴収の開始は表現の自由を保障すべき自治体の役割に逆行する。市が消極的であるコミュニケーションの導入や少人数学級に限り、その実現に向けた具体的な検討の着手を求める。市民の切実な声や憲法が保障する権利よりも施設削減や根拠の崩れた大規模事業継続が優先されていることから、本予算に反対する。

反対

少子高齢化への対応、施設の老朽化への対応、物価高騰・人件費の上昇への対応、外国人住民の増加への対応の四つの重要施策を基本とし、プレミアム付商品券の販売、福生野球場や中央体育館の改修改築工事の実施、福生市教育ビジョン2025-2029に基づく教育施策の推進、英作文AI添削サービス「ライップ」の導入など当市の問題や諸課題を的確に捉えた予算編成であることから、本予算に賛成する。

賛成

物価高対策ではプレミアム付商品券販売、シニアお買物券配布、DX推進ではフロントヤード改革を軸とした持続可能な行政

賛成

運営推進、医療・福祉分野では小児インフルエンザワクチン予防接種費用助成の開始、教育分野では牛浜もくせい中学校開校、英語教育充実、平和学習事業の実施など、人件費上昇や物価高騰の影響を受ける中で持続可能な市政運営に向け、子育て、教育、福祉への熱意を感じる本予算に賛成する。

賛成

平和学習広島派遣事業開始などの平和行政の取組、ゼロカーボンシティ推進事業など温室効果ガス排出削減の取組、公民館・生涯学習推進課・図書館に専門資格保有者を明確に位置付け市民の信頼を得て職員が専門性を発揮することによる生涯学習、活躍できる環境整備の推進など、平和な未来のための取組と持続可能な地球環境を推進する取組及び市民の学びを未来につながる質の高い社会教育の持続可能な運営のための取組を評価し、本予算に賛成する。

賛成

「子育てするならふっさ」子どもまんなかふっさ」を掲げる本市は福生第四小学校の学童クラブ設置工事費用を計上、グローバル人材育成の観点から中学校に英作文AI添削サービス「ライップ」を導入、防災食育センターに主幹職を配置し運営管理と機能強化を図るとともに、プレミアム付商品券事業などの物価高対策を実施。今後も市民生活を守り抜く取組を推進することを願い、本予算に賛成する。

賛成

そのほか次の議案等に対しても討論がありました。
●令和8年度福生市国民健康保険特別会計予算
●令和8年度福生市介護保険特別会計予算
●令和8年度福生市後期高齢者医療特別会計予算
●横田基地での米軍によるパラシュート降下訓練の全面的停止を求める陳情書

委員会の審査から

各常任委員会から報告された
主な審査概要をまとめました

建設環境委員会

3月16日に委員会が開催され、3件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。また、陳情2件については、不採択となりました。

●福生市空家等の適正管理に関する条例

特定空家等が行政代執行にまで至った場合、市は所有者等へ代執行に要した費用を納付命令という形で請求し費用弁償を求める。納付されない場合は差し押さえや公売による換価手続きなど強制的な方法によって徴収することになる。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第9号)

(建設環境委員会所管分)
熊川駅等バリアフリー整備事業について、繰越明許ではなく整備工事費を減額とした理由と減額は次年度当初予算に計上しているのか伺う。

●令和7年度は道路工事を行わないのを機に本事業における道路整備内容を再検討し、その内容を踏まえた工事費を改め



▲多摩川堤防沿いの桜の伐採状況を視察

情報連携システム(PMH)の導入の背景とシステムの概要を伺う。

以前より医療費助成等の分野においてレセプト等、紙での情報連携に係る負担が課題となっていたことから、デジタル庁が自治体と医療機関等をつなぐ情報連携システム(PMH)を開発した。市が本システムを導入することにより、令和8年4月以降は対象者が医療機関等を受診する際に、マイナンバーカードを提示することで医療機関が国のシステムにアクセスし、医療費助成の情報を取得できるようになる。

●福生市介護保険条例の一部を改正する条例

今回の税制改正の影響について伺う。
現在運営している第9期の介護保険事業計画は、令和6年度から8年度までの3年間の計画財政としており、令和8年度に税制改正の影響から所得が増減し、保険料段階に変更が生じた場合においても、令和7年度と変わらず同額の保険料段階となる。

●福生市国民健康保険条例の一部を改正する条例

子ども・子育て支援納付金を医療保険制度の保険料として徴収する理由について伺う。

医療保険制度は全世界が加入し、企業も拠出

していること、出産育児一時金など出産に関連する給付が行われていること、また、既に介護保険料を医療保険から徴収している等の理由により、子ども・子育て支援金についても医療保険と併せて徴収するとしている。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第9号)

(市民厚生委員会所管分)
質疑なし。

●令和7年度福生市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)

区市町村支援事業補助金の内容を伺う。
後期高齢者医療制度において、都内の住所地移動者に対して住所地特例が適用されず、住所地特例に関する施設が多く存在する自治体の財政負担が課題となっていることから、特別調整交付金のうち保険者インセンティブ分を活用し交付されるもので、健診受診率割、ジェネリック医薬品使用率割及び施設備在割の3項目について、それぞれ算定したものが交付額となっている。

●令和8年度福生市国民健康保険特別会計予算

口座振替申込奨励品の詳細について伺う。
口座振替を促進することが滞納を未然に防ぐこととして効果的であることから、収納率向上対策として、新たに口座振替の登録をされた方へ抽

市民厚生委員会

3月17日に委員会が開催され、8件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●福生市乳幼児の医療費の助成に関する条例等の一部を改正する条例

一部を改正する条例

選で300名の方に、福生市共通商品券2千円分を進呈する。キャンペーン期間は令和8年4月1日から6月30日まで、7月1日から11月30日までの2回に分け、応募は自動エントリー、当選者はそれぞれ150名とする。



▶口座振替キャンペーンのチラシ

●令和8年度福生市介護保険特別会計予算

情報誌配布委託料増額の理由について伺う。

答 フレイル予防対策だけでなく、口腔ケアや地域で活躍するシニアの方を紹介する内容を掲載した介護予防情報誌「福(しあわせ)☆生き生きさだよ」の発行回数を令和8年度からは1回増やし、年3回とすることから増額となっている。

●令和8年度福生市後期高齢者医療特別会計予算

後期高齢者医療保険料の保険料率の改定について伺う。

答 令和8、9年度の保険料は、均等割は医療分が4万7300円から5万3300円で6千円、12.7%の増、所得割率は9.67%から9.8%で0.21ポイント、2.2%の増となっており、新たに子ども・子育て

支援分として均等割で1300円、所得割で0.26ポイントが加わっている。

総務文教委員会

3月18日に委員会が開かれ、6件の議案を審査し、原案のとおり可決されました。

●福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

生理休暇を健康管理休暇に改める経緯について伺う。

答 東京都が令和8年4月1日より休暇取得への心理的抵抗感を緩和する観点から生理休暇の名称を、健康管理休暇に変更するというのを踏まえ、東京都に合わせて改正を行おうとするものである。

●福生市会計年度任用職員の報酬等に関する条例の一部を改正する条例

今回の改定はいつ以来の改定であるか伺う。

答 令和2年度より定められているが、制度が開始してから初めての改定となっている。

●福生市の一般職の職員の給与の臨時特例に関する条例の一部を改正する条例

現在の福生市のラスパイルス指数、26市での順位、また、本条例によるラスパイルス指数への効果について伺う。

答 令和7年度の福生市のラスパイルス指数は100.0であり、令和6年度と比較し、0.1ポイント増加している。令和7年度の26市での順位は高いほうから9番目である。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第9号)

まちづくり寄付金における指定寄附金補正額519万7千円について寄附件数と人数を伺う。

答 令和7年4月から12月までの寄附件数は270件、寄附者の人数は234名である。

●令和7年度福生市一般会計補正予算(第9号)

また、臨時特例措置により、1.0ポイントから1.2ポイント程度の

予算への影響額については、今回の改定により104万円の増額となる。

また、臨時特例措置により、1.0ポイントから1.2ポイント程度の

予算への影響額については、今回の改定により104万円の増額となる。

また、臨時特例措置により、1.0ポイントから1.2ポイント程度の

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

3月23日に委員会が開かれ、5件の議題について審査しました。また、陳情1件については、不採択となりました。

1 東京都と基地周辺5市1町による総合要請について

1月19日及び1月22日に、横田基地に関する東京都と周辺市町連絡協議会が、基地の騒音対策や基地運用の安全対策他、関係機関に要請を行った。

2 東京都が実施した航空騒音調査結果について

令和6年度に東京都が実施した調査の結果、瑞穂町農畜産物直売所、建設局昭島観測井以外について

5 横田基地に関する情報等について

2月23日、飛行中に警



▲「福生市立牛浜もくせい中学校」を視察

議会運営委員会

定例会の会期や本会議の議事日程、一般質問、議案、市民等から提出された陳情の取り扱い等の協議及び議会だよりの編集を行う議会運営委員会が、閉会中も含め7回開催されました。



次回定例会【令和8年第2回】のお知らせ(予定)

～ぜひ、傍聴にお越しください～

日	月	火	水	木	金	土
5/17	18	19	20	21	22	23
		議会運営委員会 午前10時開会				
24	25	26	27	28	29	30
31	6/1	2	3	4	5	6
		一般質問 本会議 午前10時開会	一般質問	一般質問	一般質問	一般質問
7	8	9	10	11	12	13
		常任委員会 午前10時開会				
14	15	16	17	18	19	20
		議会運営委員会 午前10時開会			本会議 午前10時開会	

会期：令和8年6月2日～6月19日
 ※日程は変更になることがあります。
 ※会期中に特別委員会が開催される予定です。
 議場には、補聴器をお使いの方、高齢等で聴き取りにくい方のために音声を送るヒアリンググループとリアルタイム字幕表示システムを導入しています。



▲委員会の様子

編集後記

令和8年第1回定例会において、一般会計予算及び特別会計予算が可決されました。一般会計予算については、人件費の上昇や物価高騰などの影響が大きく、前年度比14億円増となる309億9千万円の予算額となりました。

本予算では物価高騰対策や市内の事業所支援などを目的に「プレミアム付商品券事業」及び65歳以上の方へ1万円分の商品券を配布する「シニアお買物券配布事業」を実施する予算や福生野球場の全面人工芝化や中央体育館の空調設備設置工事などの予算も計上されました。また、本年度も引き続き「共働き子育てしやすい街ランキング2025」全国第2位に相応しい子育てに充実した予算となつています。議会としても本予算が確実に執行されることを注視してまいります。

議会運営委員会では、議会改革において、議会基本条例の制定をはじめ、議会報告会の在り方や委員間協議の手法づくりなど、実効性のある改革に向けて活発な議論を重ねています。市民の皆様により信頼され、開かれた議会の実現をめざしてまいります。